

# 給食センター 運営審議会だより

2022(令和4)年 8 月 日

運営審議会会長：黒田宏一

記録担当：七小・八小

印刷担当：各校 担当

## 2021(令和3)年度 第6回 国立市立学校給食センター運営審議会

- 日 時 2022年6月23日(木) 午後2時～午後3時30分  
場 所 国立市立学校第一給食センター2F大会議室  
委 員 出席17名  
事務局 4名(土方所長、青木主査、宮本主査、岩田主任)※敬称略  
議 題 (1) 事業報告について[資料1-1~1-4]  
(2) 学校給食費の収支状況について(12月31日現在)(資料2)  
(3) 令和4年度事業計画について(資料3)  
(4) 新しい給食センターの設計の概要について  
(教育施設担当課長より)



議事録及び資料は  
市のwebサイトから

### 議題(1) 事業報告について

[資料1-1~1-5] 令和3年度事業報告 センター長より説明

▶令和4年2月24日第5回運営会議以降6月23日まで4か月分の主な事業

- 2/28 web開催 多摩地区共同調理場連絡協議会献立研究部会
- 3/16 エコール辻東京とのコラボ給食 中学校 全3校対象  
進級・卒業を踏まえてボルシチの材料「ビーツ」のお祝いクッキーを提供。  
エコール辻の学生さんやエコール教職員の方々、国立市給食センターからは所長も  
含め栄養士などが第一中学校にお邪魔した。エコール製作によるこのクッキーを作  
成した想いや製造工程の動画を放映。大変有意義なイベントで引き続き、小学校も  
含めた形で市内のレストランやシェフ・調理関連の学校、地元の食品関連事業者な  
どとのコラボ給食を企画。
- 23・24 3学期 学校給食 提供終了  
23日小学校給食、24日に中学校給食が終了。新年度は4月8日に小学校、翌週の11日  
に中学校の給食を開始予定。
- 4/28 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会総会及び場長会 稲城市で開催  
国立市からはセンター所長が出席。
- 5/20 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会総会及び場長会 稲城市で開催  
国立市からは事務主査と栄養士主査が出席。
- 6/3 多摩地区学校給食共同調理場連絡協議会総会及び場長会 府中市で開催  
国立市からは栄養士3名が出席。
- 6/23 第6回 国立市立学校給食センター運営審議会 開催

## ▶給食の異物混入について報告

### 4/18 ビニール片の混入

給食の豚汁にビニール片が混入。給食センターで確認の結果、味噌の包装袋と判明。調理中に開封した切れ端が料理に混入したと推察される。平時から、調理中の開封時は声かけを実施し「全てを切り離さず一部繋がった状態で開封」「切れ端が出た場合もう一片と付き合わせる」などの作業を指示しているが、混入してしまった。事故発覚直後、調理担当者全員に再発の防止について指導した。

### 4/28 繊維状の異物混入

給食の白飯に太さ100分の1mm程度、長さ7cm程度のごく細い繊維状のものが混入。給食センターで確認したが異物の特定に至らず。調理場内で使用した扇風機で空气中に舞ったものが混入した可能性もあるため調理場内の清掃の徹底、衛生管理と衛生意識の向上を図るよう指導。

### 5/18 小虫の混入

給食のチーズオムレツに全長1mm程度の小虫が混入。給食センターで確認したが、昆虫の種類の特定には至らず。混入経路については、納品時、調理・配膳過程等の可能性があるが、例えばホテルパンに並べた段階で付着していた等の可能性もあるため、さらなる衛生管理や衛生意識の向上を図るなど指導を徹底した。発覚直後に調理担当者全員に再発の防止について指導した。1学期開始後、1か月余りで立て続けに起こったことを大変重く受け止めている。

## センター長より

調理員一同を集め、私（センター長）から、チェック体制の厳格化や衛生管理意識をしっかりと自覚するよう指導いたしました。また、異物混入はあってはならないことで、児童生徒、保護者の方々をはじめ学校関係者と給食センターの信頼関係を大きく揺るがし、多大な悪影響を及ぼすときつく注意いたしました。反省と自戒の念を込め再発防止に努めてまいります、どうか御理解のほど何とぞよろしくお願い申し上げます。（文書にて該当校・保護者におわび）

## ▶牛乳・給食の放射能測定結果

### 給食センターでの放射性物質の測定結果について

2月～5月までの給食実施日の飲用牛乳、飲用牛乳を除いた小・中学校の提供給食を測定、いずれも検出限界値にて不検出。外部検査機関による放射能測定の結果と3月～6月使用分の給食物資の予定産地と地場野菜の使用予定日は同資料に記載。

## 報告については以上

### 【委員からの主な質問や意見】

質問1 一連の混入事件については現給食センターの老朽化によるものではないか？  
新センターでは異物の混入のような事案は減るとみているか？

回答1 新給食センターでは起こらない可能性が高いと判断している

言い訳がましくはなるが、現給食センターは、各部屋が密閉されておらずシャッターによる区分けである。開閉をしながら調理を行うため半分「外」と表現できる。午前中、調理中はとても暑いが限界まで閉めている。午後は回収便が来るためシャッターは全開放となる。虫などが入る可能性はある。新給食センターは「ドックシェルター」で各部屋が独立した状態なので、まず起こらない可能性が高いといえる。

質問2 なぜ今年度の4月に立て続けに混入事件が起きたか？

昨年までと比較して1年間でそこまで変わらないと思うが、今年度の4月に続いた原因をどうお考えか。例えば季節なのか、人間的なのか。

回答2 結果として4月に重なったと考えられる

過去にも混入はあり、人間的なものが原因ということは考えにくい。老朽化もあるが現施設がシャッターによって区画されているのもある。新しい給食センターでは完全になくなると考えている。連続して起きた結果として今年に限って4月に続いたという形になる。大変申し訳なく思っている。

## 議題(2) 学校給食費の収支状況について(令和3年4月1日より12月31日まで)

### 〔資料2〕 監査員より説明

監査は6月16日木曜日、午前10時頃から第一給食センター会議室にて行われた。

令和3年度の学校給食費の収支書類と証拠書類を監査したもの。

令和3年度の学校給食費収支状況について、帳簿及び預金通帳等を照合した結果、適正に処理されていることを認めます。

※詳細は、国立市ホームページ令和3年度市立学校給食センター運営審議会／国立市ホームページ (city.kunitachi.tokyo.jp)または本紙1ページ掲載のQRコードよりご確認ください。

### 【委員からの主な質問や意見】

質問1 令和3年度の給食費未納額の内訳では「未納の理由」は聞き取りしているか？

回答1 個別具体的に未納の方に対して直接うかがうことはない

督促や催告書、最終催告書、あるいは来所指示書にて納付を促す、あるいは来ていただくことを促している。しかし未納者は通知に反応せず、連絡が取れないので、どういふ状況で未納に至っているのかを把握する手段がない。

## 議題(3) 令和3年度事業総括について

### 〔資料3〕 令和3年度事業報告 センター長より さらに強化したポイントについて説明

#### ▶ 「食の安全安心の確保」「給食の充実」について

#### ① 食の安全安心の確保の「(1) 地場野菜の使用率」

18.23%と、令和2年度と比較し0.63ポイントの微増。令和5年度 第2学期の新学校給食センター開設を鑑み、国立市の第2次基本計画の目標値である20%以上を念頭に、提供いただく農家さんの新規開拓に向けて道筋をつけるべく努力していく。

#### ② 「(3) 給食の充実」

③米飯給食の提供では、令和2年度とほぼ同じ週3回以上を満たしており、目標を達成。

⑤、⑥、⑦は、(第5回運営審議会資料 令和4年度 事業計画参照) 国立市の地域性や独自性を踏まえたものであるため、今回より加筆。

#### ③ 「(4) 食物アレルギーへの対応」

令和2年度に引き続き徐々にではあるが、カルテの提供などの対応者が年々増加傾向にある。

#### ④ 令和4年度の課題

施設・設備の急激な老朽化が進んでいる。故障等のトラブル発生を念頭に、日々のメンテナンスに留意し、新センター稼働までの残り1年余を安心安全な給食の提供に支障が生じないよう細心の注意をもって努めていく。

事業総括については以上

## 議題(4) その他

### 【委員からの主な質問や意見】

意見 給食費の無償化を検討できないか

未納の方にもそれなりの理由があると思う。現在これだけ景気が悪くて給料が上がらない、本当に大変な時代だからこそ給食費無償化を検討できないか。

国立市のウェブサイトの令和4年度一般会計を見ると、歳出で学校給食費が3億5,000万、国立市の一般会計のおよそ6%程度が給食費。

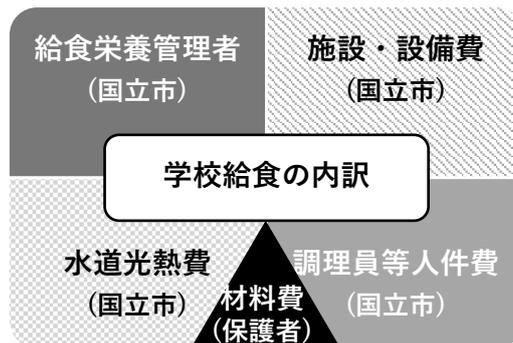
医療費も無償化に移行している時代、給食も全額負担でなくても半分でも。無償化を検討する場、給食センター運営審議会では市としては難しいか。

事務局 現在の制度設計上は難しい

実際に議会でも無償化の話はある。この回答は市長判断ではないが、例えば生活困窮者や生活保護者の方、一定の所得以下の方には「就学援助」という形で給食費を公費負担しており、実質無償化である。

それ以外の方は給食費を納めていただいているが、一律無償化となれば税金、いわゆる公金を充てることになる。税金はみなさんから納めていただいて、苦しいながらも納めている方もいらっしゃる、福祉や生活困窮者の方へ充てるお金を給食費にと

いうことになるので、現在の制度設計上は難しく思う。給食提供の内訳として約60%以上は既に公費負担で、光熱費、人件費、施設維持費などがあたる。賄い材料費のみを給食費としている。全体の金額として約2億4,000万から2億5,000万。



意見 納めている方の不公平感をどうするか

現実には就学援助を使わず未納の方がいらっしゃる。未納の理由はお調べになっていないとのことだが、納めている方の不公平感をどうするか。きちんと納めている人からしたら、仮にお金に困っていないのに未納している方に対してはおかしいとなる。

事務局 未納の方にはまずはご相談いただきたい

未納の方は生活困窮、財産がないなどではないかと思う。

文書やお電話で連絡を差し上げてもしのつぶて。実態調査は難しい。税金では実態調査は可能だが、給食費は材料費であり税金ではない。

先方にこちらからの連絡が届かないのが現状。もし連絡が取れたら期限を決めてお待ちしたり、分割して納めていただいたりなどのご提案はできるかもしれない。

令和4年度 第1回 国立市立学校給食センター運営審議会 7月21日(木)14時～

令和3年度 国立市立学校給食センター運営審議会だよりを終了させていただきます。一年間、ありがとうございました。

次回の給食センター運営審議会だよりから令和4年度の運営審議会委員担当者が発行させていただきます、どうぞよろしくお願いいたします。